

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-2-1	事務事業名 介護保険料徴収事務	所管部課 保健福祉部介護保険課
--------------	--------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 介護保険制度が「社会全体で支えるシステム」という基本理念を踏まえ、被保険者間の負担の公平性や安定した財政基盤の確保を保つ観点から、介護保険料の徴収率の向上に努める。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)社会保障制度の運営 (主要施策)介護保険の健全な運営
	実施内容、実施方法 普及啓発事業(口座振替等)、個別対応、督促・催告、関係各課との連携の強化	根拠法令等 介護保険法・西東京市介護保険条例
	事業開始時期 平成 12 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 口座振替の実施率	活動指標の考え方(定義) 介護保険料普通徴収者の口座振替率の向上
	滞納繰越者への個別対応数	滞納繰越者に対しての納付相談等の実施
	成果指標名 滞納繰越収納率の向上	成果指標の考え方(定義) 収納率

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		5,736	6,360	6,246	8,144	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		5,736	6,360	6,246	8,144	
	所要人員(B)	人	0.80	0.80	0.80	0.80	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,597	6,618	6,662	6,662	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	12,333	12,978	12,908	14,806	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(滞納繰越収納率)	千円			537.85		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	%			30	30
		実績値	%			24	
	活動指標	目標値	件			300	300
実績値		件			200		
成果指標	目標値	%			21	21	
	実績値	%			21		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	全国で同様の事業を実施
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 6-2-1	事務事業名 介護保険料徴収事務	所管部課 保健福祉部介護保険課
--------------	--------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	現年度分の徴収率は高い水準(15年度98.3% 16年度98.1%)を維持したが、滞納繰越分の徴収率が低下した(15年度30.6% 16年度20.6%)。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	被保険者間の負担の公平性や安定した財政基盤を確保する。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	過年度滞納者に対しては、毎年11月から2月にかけて、職員2名が一組となって一日平均20件を訪問し、徴収及び納付相談を行っており、適正な職員数を配置している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	口座振替の利用促進の周知、過年度滞納者に対しての個別対応の実施。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	過年度滞納者に対しての徴収率向上のために関係各課との連携の強化が必要である。

17年度における改善点	関係各課との連携の強化(庁内に(仮称)徴収率向上対策特別プロジェクトを立ち上げる)。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。